



ザンビアの経済概況・月報(2014年11月)

主なマクロ経済指標	2013年	2014年
1. 人口 (百万人)	14.5 (est)	14.9 (予想)
2. 人口増加率 (%)	2.8(2000-2010)	2.8(2000-2010)
3. 失業率 (%)	7.8(2012)	7.8(2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	24,746(予想)	25,981(予想)
7. GDP成長率 (%)	6.7	7.0(予想)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1(2012)	1,358*1(2012)
9. インフレ率 (%)	7.1(Dec)	8.1(Nov)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	131.26	144.63(Nov)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	423	10.58*2(Oct)
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-80.31*4	-6.2*3(Oct)
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	10,608	815.85*2(Oct)
14. 対日輸出 (百万米ドル)	53.02*4	3.92*3(Oct)
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	10,185	805.26*2(Oct)
16. 対日輸入 (百万米ドル)	133.33*4	10.12*3(Oct)
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,077	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	177 (2012)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,066 (2012)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,852 (2013末)	2,673(Feb)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	3,500 (2013末)	4,700(Sep)
22. 為替レート (対米ドル)	5.39ZMW*5	6.35ZMW(Nov)*5
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.52	12.0 (-18日)/12.5 (19日-)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*2 1USD=6.33ZMW (2014年10月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3 1USD=103円(2014年10月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2' <2014年2月>
/3' 主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/金(半製品)
主要貿易相手国(輸出): スイス 44.7%, 中国 17.6%, 南アフリカ 10.1%, コンゴ(民) 8.1%, オーストラリア 4.5%, その他 15.0%
主要輸入品目: 高速道路用の騒音装置/軽油/内燃機関用燃料/瀝青/天然アスファルト/瀝青岩
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 35.9%, コンゴ(民) 15.6%, 中国 8.0%, ケニア 7.4%, アラブ首長国連邦 5.3%, その他 27.8%
*4 1USD=94円(2013年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨)=1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典>
1.-2., 5.-7.: Country Report 2013 (EIU), The World Factbook (CIA)/3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security)/4. Census 2010 /8.: UNDP Human Development Report /9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO)/12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 /17., 20.-21.: The World Factbook (CIA)/18.-19.: UNCTAD/22.-23.: Bank of Zambia

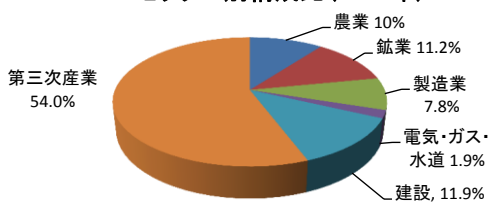
<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

1. 法人税(Corporate/ Company Tax): 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
2. 付加価値税(VAT): 16%。
3. 採掘権料(Mineral Royalty): 6%。
4. 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
5. 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成比(2013年)



(出典: ザンビア中央統計局(CSO)データから当館作成)

主要な経済ニュース(11月)

1. “ザンビアへの資金提供、減少”(Times, 5日)

ムーディーズは、昨今の政治的不安定により、ザンビアへの資金の流入が減速すると予測した。クリスチャンセン・ムーディーズ・アソシエイタナリストは、サタ大統領の逝去に伴う政治空白により、IMFなどの機関が、金融支援ならびに技術支援を延期した旨発言した。

2. “ザンビア中央銀行「クワチャ通貨は比較的安定な状態を維持」”(Post, 5日)

コンドゥエ・ザンビア中銀(BoZ)総裁は、政治の転換期であるにもかかわらず、経済ファンダメンタルズは未だに強固であり、クワチャも比較的安定していることから、ザンビア経済は引き続き健全である旨発言した。

3. “ザンビアの順位が下落”(Times, 6日)

世界銀行が毎年編纂している「ビジネス環境指数」ランキングの2015年版において、資産譲渡税が5%から10%へと引き上げられたことをうけ、ザンビアは前年から順位を4つ下げた。ザンビアの順位は、183か国中、前年(2014年)の107位から111位となった。

4. “ザンビアは向こう10年間、メイズを輸出”(Post, 6日)

農業研究機構・地域ネットワーク(ReNAPRI)は、ザンビアは、向こう10年間で年間48万トンのメイズを輸出し続けると予測した。

5. “ザンビア、引き続き投資を求める”(Daily Mail, 7日)

シワレ・バンゲアセキュリティCEOは、非伝統的セクターの開拓に関心のある投資家の存在により、ザンビアに対する国際的な関心は引き続き高いと言及した。

6. “ブランソン氏のザンビア訪問、ZDAを活気づける”(Post, Daily Mail, Times, 10日)

チサンガ・ザンビア開発庁(ZRA)長官は、ヴァージングループの創設者であるリチャード・ブランソン氏のザンビア来訪(12月4日・5日)は、ザンビア経済の回復をタイムリーに示す訪問であると発言した。

7. “チサンガZRA長官「ザンビア政府はMFEZsを増加させる」”(Daily Mail, 13日)

チサンガZRA長官は、ザンビア政府は、国の成長を促進すべく、ZDAを介して複合的経済特区の総数を10区に増加する意図がある旨発言した。

8. “チクワンダ財務大臣「ザンビア政府は鉱山への還付を制約」”(Post, 14日)

チクワンダ財務大臣は、13日の2015年度国家予算国会審議において、付加価値税(VAT)の還付を要求している複数の鉱山会社がザンビア政府に対する法的手続きを開始しているために、政府がVATの還付問題を解決することが困難になっている旨明らかにした。

9. “ザンビア政府、再生可能エネルギーの関税に取り組み”(Times, 18日)

ザンビア政府が間もなく国内における再生可能エネルギー資源使用に向けた関税政策を策定する旨、政府のエネルギー専門家により明らかになった。

10. “ザンビア中央銀行「ザンビアは6.5%の経済成長率を維持」”(Daily Mail, 20日)

ザンビア中央銀行(BoZ)は、今年の経済成長率は、目標値である6.5%を維持するだけでなく、さらに高い数値を達成する可能性があるとの確信をみせた。

11. “ザンビア政府、エネルギーセクターを自由化”(Daily Mail, 26日)

ズル鉱山エネルギー水開発副大臣は、ザンビア政府は、市場へのさらなる招致を目的としたエネルギーセクターの自由化をすすめるべく、電力・エネルギー規制法を間もなく改正する旨発言した。

12. “日本政府、さらなる支援を約束”(Times, 27日)

小井沼紀芳駐ザンビア特命全権大使は、日本政府は、日本とザンビアの二国間の貿易・投資を促進する重要性を大いに認識している旨発言した。小井沼大使は、さらなる投資機会を模索すべく、南ア商工会議所のザンビア訪問が検討されている旨発言した。